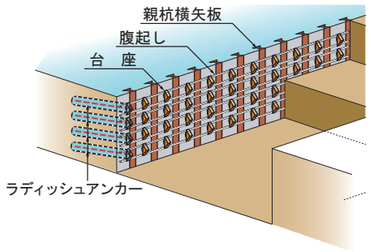
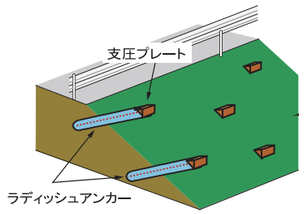
施工事例

■仮土留め



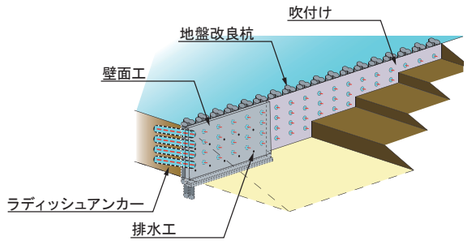
施工機：アンカー型　大径ラディッシュアンカー

■斜面・構造物補強



施工機：スプリングドリル　中径ラディッシュアンカー

■盛土急勾配化・切土補強土土留め壁



施工機：アーム型　大径ラディッシュアンカー

ライト工業株式会社

ISO 9001
ISO 14001
OHSAS 18001
認証取得

防災技術部

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35

URL www.raito.co.jp

e-mail gijyutsu@raito.co.jp（防災技術部）

[防災技術部]
TEL.03-3265-2454　FAX.03-3265-3402

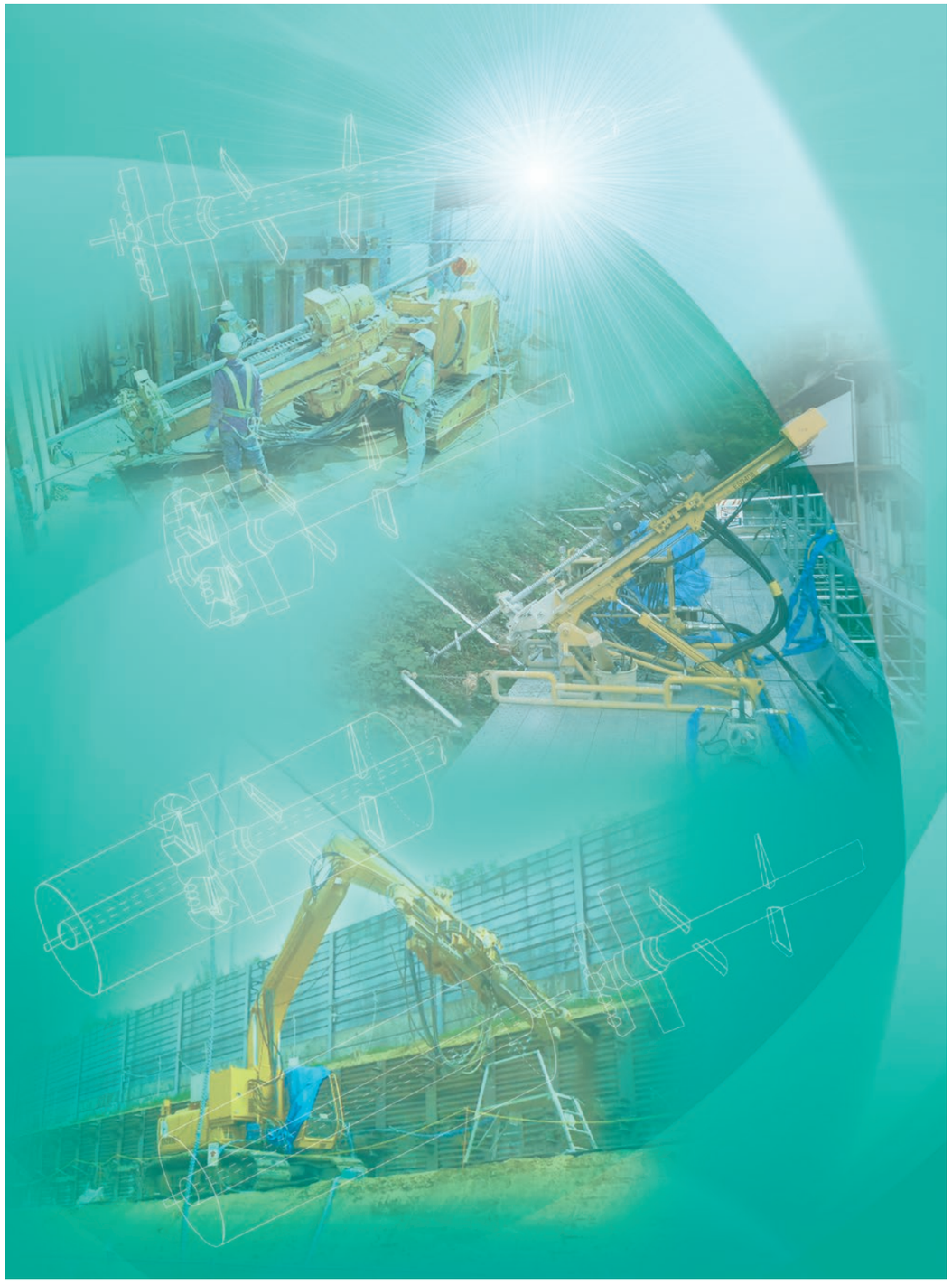
[設　計　部]
TEL.03-3265-2845　FAX.03-3230-4156

お問い合わせは下記へお申し付け下さい。

発　行　2016年12月
780312_200_TB

ラディッシュアンカー工法

大径棒状補強体を用いた地山補強土工法　NETIS登録番号（旧KK-990020-VE）※



地盤改良技術を応用し
大径棒状補強体を実現した地山補強土工法

ラディッシュアンカー工法は、従来の鉄筋挿入工法を改良し、撹拌混合方式の地盤改良技術を応用することによりφ200～φ400mmに大径化し、地盤との摩擦抵抗を効率よく得ることができる地山補強土工法です。

特　長

1. 供用中路線における近接施工が可能

土とセメントミルクを原位置で撹拌混合するため、地盤を緩めたり、応力を与えることがなく、道路や路線の近接施工が可能です。

2. 用地境界が近い場合に有効

軟弱地盤でも所要の摩擦抵抗力が得られるため、従来のグラウンドアンカー工に比べ打設長が短くなり、用地境界が近い場合に有効です。

3. 大径化による工期・コストの縮減

大径改良体の築造により、従来の地山補強土工に比べ、長さを短く、本数を少なくでき、工期・コストを縮減できます。

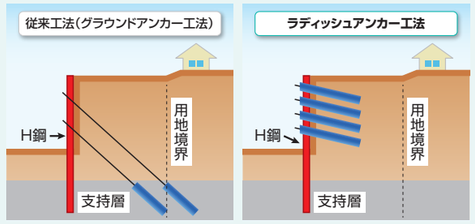
4. 施工条件に応じた施工機が選択可能

削孔機は「アーム型」、「アンカー型」、「インバーターチゼル型」の3種類があり、施工条件、地盤条件、環境条件などを勘案して選定できます。

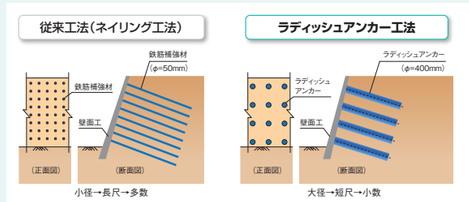
5. 低騒音かつ低振動

低騒音型の電動モーターによる施工のため、低騒音で低振動の施工となり周辺への影響が少ない工法です。

供用中の道路盛土急勾配化の施工



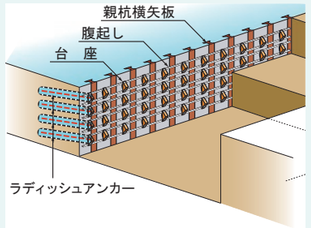
用地境界が近い場合に有効



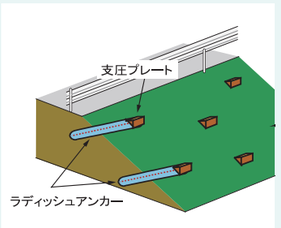
大径化による工期･コストの縮減

適用例

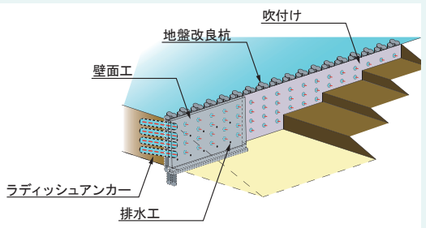
仮土留め



斜面･構造物補強

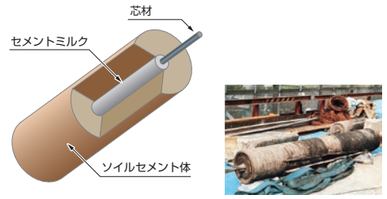
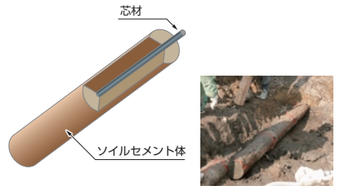
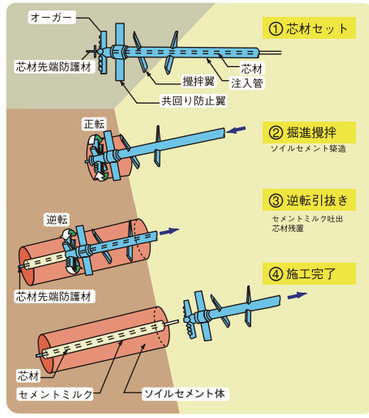
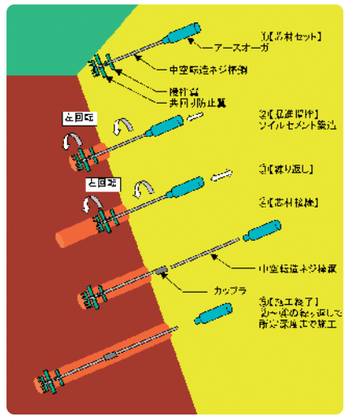


盛土急勾配化･切土補強土土留め壁



補強体径及び施工機

施工条件、地盤条件、環境条件などに応じた補強体径、施工機が選定可能です。

種　類	大径ラディッシュアンカー（ダウアリング）		中径ラディッシュアンカー（マイクロパイリング）
特　長	ソイルセメント体の築造と同時に、セメントミルクを吐出しながら掘削ロッド内にセットした芯材を残置させることで、棒状補強体を築造します。施工機は現場条件に合わせてアーム型とアンカー型から選定できます。		芯材兼用の自穿孔中空ボルトを使用し、芯材を残置させることで、棒状補強体を築造します。大径ラディッシュアンカーの施工が困難な狭隘地で用います。
補強体径（標準）	φ400mm		φ200mm
補強体概念図			
適用地盤	砂質土N値≦20、粘性土N値≦10		砂質土N値≦10、粘性土N値≦5
施工機	アーム型 バックホウをベースマシンとし、アームを伸ばすことで施工レベルより低いところから高い位置までの施工が可能です。施工機が大きいため、施工ヤードが確保できる場所での施工に適しています。	アンカー型 グラウンドアンカー施工機をベースマシンとし、小型で重量が比較的軽いため、施工ヤードの片側又は両側に鉄道や既設構造物が介在する場合や空頭制限下における施工が可能です。	インバーターチゼル型 小型軽量の電動式ボーリングマシンをベースマシンとし、機械足場は2.5m以上の仮設足場を用いて作業を行います。
施工手順